

主催:内閣府

共催:東京都(予定)、横浜市(予定)、川崎市

後援:文部科学省(予定)、厚生労働省、神奈川県(予定)

協力:国立大学法人 東京工業大学

不登校、ひきこもりへの支援を語る

平成22年12月4日(土)

東京工業大学内 (東京都目黒区大岡山2-2-1)

参加費:第I・II部ともに 無料

今年の5月に厚生労働省の研究班が「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」を発表しました。平成19年度から3年間にわたって行われた調査研究の総決算です。私も分担研究者として調査に参加しました。

この調査から、いくつか重要な指摘がなされています。一つは、ひきこもりとしてみられていたケースに、発達障害事例が多く含まれていること。また、ひきこもり事例全体の高年齢化。私が分担した調査では、当事者の治療意欲の高さが改善要因としてもっとも重要であることもわかりました。

確かにひきこもりをとりまく状況には深刻な面もあります。しかし診断の精度を上げることで対応できる事例が増える可能性や、意欲と改善度が比例するといった結果を考えるなら、私たちはまだまだ希望を持ってこの問題と取り組むことができるはずです。今回の講演会が、多くの当事者や関係する方々と、こうした希望を分かち合える場となることを願っています。

(斎藤 環)

◇第I部 対談

10:00~12:00

(開場9:15)

定員 600名

(当日先着順)

70周年記念講堂

斎藤 環

昭和36年岩手県生まれ。筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。現在、爽風会佐々木病院精神科診療部長(昭和62年より勤務)。青少年健康センターで「実践的ひきこもり講座」ならびに「ひきこもり家族会」を主宰。専門は思春期・青年期の精神病理、および病跡学。著書に「社会的ひきこもり(PHP研修所)」「戦闘美少女の精神分析(太田出版)」「ひきこもりから見た未来(毎日新聞社)など。

井出 草平

昭和55年大阪府生まれ。社会学。大阪大学非常勤講師。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。著書に『ひきこもりの社会学』(世界思想社)、共著に『家族を超える社会学』(新曜社)。厚生労働省ひきこもり対応ガイドライン作成のための研究班への参加を経て、平成22年度より大阪府のひきこもり支援事業に関わる。

◇第II部 支援機関・団体の活動案内 13:30~17:35

西5号館

(東京都)

13:30 ~ 14:20

14:35 ~ 15:25

4階

W541教室

NPO法人 星槎教育研究所

<http://www.seisa.ed.jp/npo/index.html>

新宿区神楽坂6-35-1 教育センタービル1・2F

- 支援センター: 不登校・ひきこもりの傾向にある子ども、発達障害のある児童生徒に対し、社会性を育むためのSSTや学習支援を行う。
- フリースクール: 不登校の子どもたちの学びの場、個性を認め合う友だち作りの場を提供する。
- 高校から35歳までの若者に対し、自己理解やコミュニケーション能力を育てるキャリア教育を実施し、「働く」機会の拡充・創出を支援する。
- 不登校・発達障害に関するセミナー・研修を行う。

NPO法人 文化学習協同ネットワーク

<http://www.npobunka.net/>

三鷹市下連雀1-14-3

(法人本部・子ども発達支援事業部)

当法人は①子ども発達支援事業(フリースクール・学習支援・各種イベント)、②若者自立支援事業(相談活動・セミナー・各種プログラム)、③コミュニティビジネス事業(バーカー・農場・IT事業)の3本柱で事業を展開しています。子ども期から青年期まで、「一人ひとりの発達を支える」ことを軸に、継続的・総合的なサポートをしています。人と社会と、自身への信頼を取り戻し、よりゆたかに生きることを応援します。

3階

W531教室

NPO法人 ワーカーズコープ

<http://tokyo.roukyou.gr.jp/>

豊島区池袋3丁目1-2 光文社ビル6階

ワーカーズコープは、協同労働による「仕事おこし・まちづくり」の協同組合です。平成20年より「しんじゆく若者サポートステーション」、平成21年より「せたがや若者サポートステーション」を運営しています。同じ法人の運営している子育て・介護・清掃等の事業所で若者の職場見学や体験を実施。働く人どうしが協同し、利用する人と協同し、地域に協同を広げる協同組合ならではの働き方を通じて、人の成長を応援しています。

東京YMCA liby

<http://www.k3.dion.ne.jp/~liby/index.html>

新宿区中落合4-21-7

libyとは、Let it be at the YMCA of Tokyoの略で、東京YMCAがプロデュースする、いわゆる「ありのまま」でいられる場所です。2階建て一軒家の7部屋を使って、おしゃべりしたり、ネットしたり、音楽を聴いたり、まつりしたり、カードゲームをしたり、お菓子を作ったり…、それぞれのしたい過ごし方ができる場がlibyです。月曜～金曜の12時～19時半で開いていて、夕食を作った時は、みんなでワイワイご飯を食べています。

2階

W521教室

東京都発達障害者支援センター

<http://www.tosca-net.com>

世田谷区船橋1-30-9

発達障害(自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など)の人とその家族が、安心した暮らしを営むことができるよう総合的支援を行う地域の拠点として、平成15年1月に開設。社会福祉法人嬉泉が東京都より委託を受け運営している。利用対象は、東京都在住で、発達障害のある本人と家族、支援関係者。

東京都教育相談センター

<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>

文京区本郷1-3-3

当センターは、東京都が設立している教育相談機関です。公立学校、私立学校を問わず、都内在住、在勤、在学の幼児から高校生相当年齢までの子供本人、保護者、教員等からの相談に応じています。電話やメールによる相談のほか、心理職による来所相談も行っています。また、高校を再受験したい子供やその保護者のために、リスタートプレイスを設置し、情報提供や相談を行っています。

西5号館

(東京都)

15:40 ~ 16:30

NPO法人 青少年自立援助センター

<http://www.nt.pial.jp/ysc/>

福生市福生2351-1

当法人は、20年の歴史を持つ学習塾「タメ塾」の活動を継承し、11年前にNPO法人として設立してからも、一貫して不登校、ひきこもりの若年者への自立支援を行ってまいりました。保護者相談、訪問支援、自立のためのトレーニングによって若年者が社会参加の扉を開くことができるようサポートします。

16:45 ~ 17:35

NPO法人「育て上げ」ネット

<http://www.sodateage.net>

立川市高松町2-9-22 生活館ビル3F

2004年に法人化し、「若者と社会をつなぐ」をミッションとして、未就労の若者と、その家族への支援をしています。「働く土台」をつくるための「若年者就労基礎訓練プログラム(通称:ジョブトレ)」、「わが子」の自立に悩みを抱える母親の会「結(ゆい)」を実施しています。今後、発達障害を抱える若者向けの就労基礎訓練や、女性の社会参加準備を支援するプログラムを開発し、ニーズごとの支援を展開していく予定もあります。

4階

W541教室

NPO法人 ピアサポートネットしづや

<http://peersupport.jp/>

渋谷区恵比寿4-7-6 KTビル201

当団体では、不登校やひきこもりなど困難を抱える子ども・若者の自宅にサポーターが訪問する訪問サポートを行っています。その後、サポーターと一緒に、フリースペース活動やグループワーク体験などに参加し、自立を支援しています。

また、保護者には、相談員が、臨床心理士などのネットワークで対応しています。

また、小学生時からの人間関係づくりの重要性を踏まえ、渋谷区内で小学生を対象に様々な体験活動を行っています。

社団法人 青少年健康センター

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~skc/>

文京区小日向4-5-8 三軒町ビル102

当法人は、不登校やひきこもり等に現れる青少年の精神的・社会的不適応の問題に取り組む為、精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士等資格の保持者を含む福祉・教育専門家など多くの有識者が集い、1985年に発足、現在まで公益法人として活動してきています。

その内容は◎電話・面接相談 ◎訪問相談活動 ◎相談的家庭教師 ◎茗荷谷クラブ(デイケア) ◎社会参加支援活動(バイト体験) ◎斎藤環参与他による各種講座・講演会開催等々、多部門にわたっています。

3階

W531教室

東京都立(総合)精神保健福祉センター

①中部総合精神保健福祉センター 世田谷区上北沢2-1-7

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/chusou/index.html>

②多摩総合精神保健福祉センター 多摩市中沢2-1-3

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/index.html>

③精神保健福祉センター 台東区下谷1-1-3

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/sitaya/index.html>

精神的な悩みや心の病気についての相談をお受けします。アルコール・薬物相談、思春期相談などの専門相談も行なっています。電話相談の後に必要な場合は面接相談(予約制・無料・秘密厳守)をいたします。専門相談では家族向けの講座や本人向けグループも実施しています。都内を3つの地域に分けて3箇所のセンターで行っています。

教室の移動は15分間の休憩時間
をお願いします。

各団体のパンフレットは西6号館
1階W611教室にありますので、
自由にお持ち帰りください。

2階

W521教室

西6号館

(神奈川県)

13:30 ~ 14:20

14:35 ~ 15:25

4階

W641教室

NPO法人 リロード

<http://www14.ocn.ne.jp/~reload/>
横浜市保土ヶ谷区天王町1-30-17

NPO法人・フリースクール楠の木学園(民間)が神奈川県(行政)との協働で、「ひきこもり 青少年支援協働ネットワーク事業」を2002年1月より始めたのが、活動のきっかけです。2005年5月に楠の木学園から独立してNPO法人「リロード」となり、2007年10月からは、横浜市の補助を受けて地域ユースプラザと保土ヶ谷区青少年の地域活動拠点を運営しています。

NPO法人 ユースポート横濱

<http://www.youthport.jp/>
横浜市中区伊勢佐木町2-8-1 若林ビル3階

ユースポート横濱は、横浜や近隣地域において若者の就労支援をしている神奈川県認証のNPO法人である。若年不安定就労者を対象とした支援施設「ユースポート」(アクセンチュア株式会社コーポレート・シチズンシップ助成事業)、若年無業者を対象とした支援施設「よこはま若者サポートステーション」(厚生労働省委託事業・横浜市協働事業)を運営し、年間延べ1万人以上の若者の就労支援をしている。

3階

W631教室

横浜市こども青少年局

<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/>
横浜市中区港町1-1(青少年育成課)
横浜南区浦舟町3-44-2(青少年相談センター)

横浜市こども青少年局では、青少年育成課と青少年相談センターが中心となって、不登校やひきこもりの子ども・若者に対し、一人ひとりの状況に応じて、きめ細かく、切れ目のない相談支援や居場所づくり、社会参加・就労体験プログラムを展開しています。平成22年7月には「横浜市子ども・若者支援協議会」を設置し、子ども若者支援を行う他の行政機関や民間のNPO、企業、学校教育機関と連携した包括的な支援体制の構築に向けた取り組みを始めています。

NPO法人 くだかけ会

<http://www17.ocn.ne.jp/~kudakake/>
南足柄市関本44-1

1978年より家庭教育の見直しと青少年の教育環境の改善を図るために、子ども～大人を対象とする心の教育などの健全育成活動を行っています。子どもも大人も安心してその人らしく生きる為にはどうしたらよいかを学び合っています。
○くだかけ生活舎(山北町)での実体験を大切に短期・長期の共同生活。
○各種講座、座談会の開催
○不登校、ひきこもり親の会<ひきこもりの解決とは?>

2階

W621教室

NPO法人 フリースペースたまりば

<http://www.tamariba.org/>
川崎市高津区千年435-10

不登校・ひきこもりの子ども・若者たちに対し、学校外の多様な学びや育ち・生き方を支援する『フリースペースえん』、及び指定管理者として「川崎市子ども夢パーク」の管理・運営を行なう。また、不登校・ひきこもりなどで悩む本人や家族等の電話相談や来所面談、親たちが集まって語り合う懇談会、20歳以上の若者が集まって語る会なども定期的に開催している。その他に、手作り藍染め製品の販売店舗「工房たまりば」の運営も行なう。

西6号館

(神奈川県)

15:40 ~ 16:30

(株) K2インターナショナル

<http://www.k2-inter.com/>

横浜市磯子区東町9-9

22年前から不登校・ひきこもり・家庭内暴力など、様々な生きづらさを抱える子ども達を支援してきた団体です。共同生活を柱とし、現在は[よこはま南部ユースプラザ](相談・居場所)や家族支援、訪問事業等も実施しています。若者支援だけでなく、乳幼児から学童保育、地域のこどもの居場所事業など、地域に根差した活動をしています。

NPO法人 そだちサポートセンター

http://www.geocities.jp/sodachi_ssc

平塚市錦町5-17

私たちの主な活動は、不登校の子どもたちの学校生活再開のお手伝いをすることです。具体的には、カウンセリングと学習支援と集団適応支援中心の活動をすすめています。私たちの活動は現在13年目に入りました。この間多くの子どもたちが学校生活を再開し、「そだち」を巣立って行きました。初めに巣立った子どもたちは、もう立派な社会人として活躍しています。

NPO法人 アンガージュマン・よこすか

<http://engagement.angelicsmile.com/>

横須賀市上町2-4

当団体は2004年に設立され不登校の子どもやひきこもりの若者の支援を行っています。商店街の中にあり事業の多くを商店街と協働して行っていることが特色です。子どもや若者の集う居場所の運営、個別指導の学習支援、当団体の運営する「はるかぜ書店」での研修や野菜の宅配を中心とした就労支援、当事者と保護者らへの相談・カウンセリングを主な事業としています。

16:45 ~ 17:35

株式会社 シェアするココロ

平成21年5月に若年者就労支援を行うNPO法人職員を中心に創業し、現在、横浜市委託事業である若者応援サイト「ハマトリアム・カフェ」<http://www.hamatorium.com/> を制作運営し、支援情報を若者や保護者にわかりやすく届ける情報支援を展開。また、首都圏の公立高校の就職希望生徒に対するキャリア・ガイダンスや講演活動を行い、21年4月から1万人以上の生徒が受講、ニート・フリーター予防支援の取り組みも行っています。今後は、情報支援の枠を拡大し、ウェブサイト制作、動画制作等でNPO法人等社会的活動の広報支援を行っていく予定。「シェアココロ」と呼ばれています。

NPO法人 こどもと生活文化協会(CLCA)

<http://www.clca.jp>

小田原市城山1-6-32 Sビル2F

青少年の健全育成のために「生活」をテーマにさまざまな活動を展開している。どの活動もいつも子どもと大人一緒に活動していることが特徴。不登校、ひきこもりは各家庭の問題ではなくつながりを失ってしまった社会の問題であるという考えで取り組んでいる。サポートは相談からスタートし、活動参加や居場所への通所、寄宿生活体験など。家族の勉強会も開催。

教室の移動は15分間の休憩時間
をお願いします。

各団体のパンフレットは西6号館
1階W611教室にありますので、
自由にお持ち帰りください。

4階

W641教室

3階

W631教室

2階

W621教室